

翠恒たより



地方自治一直線

早いもので、本年も三分の二が過ぎようとしています。私に与えられた四年の任期もすでにホームストレッチ前に差し掛かりました。ラストスパートをかけゴールを走り抜ける覚悟でございます。折りしも、県議会では総務企画常任委員長・議員団政務調査会筆頭副会長などの職にあり、価値のある仕事をすべく頑張っております。

初当選以来地方自治一直線に歩んできました。その間の様々な経験を生かし自分なりに集大成すべき時であると考えております。今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

発行：鈴木恒夫後援会
 発行責任者：木村哲也
 〒251-0871
 藤沢市善行2-19-4
 TEL0466-83-2121
 FAX0466-83-2122

安心・安全街づくりを目指して

最近予期し得なされます。これにより、津波警報・い事件、事故が多注意報をリアルタイムで表示するこく発生しておりまが出来、同海水浴場全体から警報を認識出来るような設置方法を検討する必要があると、将来の激しい時こそ、モラルの向上とそのスタンスの構築しなければなりません。

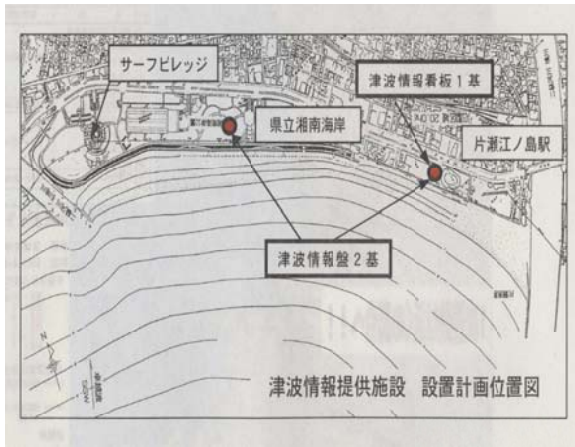


江の島周辺夜間パトロールにて

さて、この夏、私は、毎週土曜日から午後九時から江の島周辺の夜間パトロールに参加しております（一回欠席）。モラルの向上を喚起するとともに、海岸の花火・音楽規制を含めた県迷惑条例改正案を想定し、実態調査を兼ねて参加いたしました。

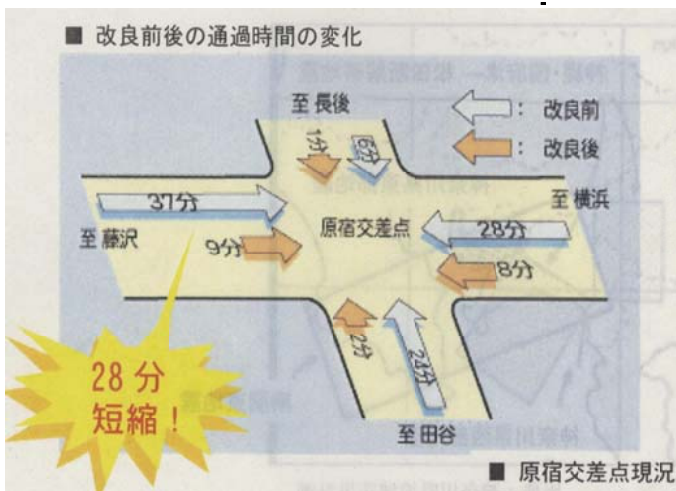
一方、津波に対する対策として、県内最大の海水浴場である片瀬西浜に電光掲示板（津波情報板）二基が平成一九年度〜二一年度にかけ設置

避難ルート等を周知する看板で片瀬海岸には平成二〇年度設置予定です。



ー今秋よりー
 原宿交差点改良工事着手へ
 原宿交差点は一日平均8万5千台

の車が集中する県内最大の渋滞発生地点であり、その改善が待たれておりました。このほど、国道1号線（上下各2車線）を420mにわたって地下化することによって、約8割を占める直進車両を交差点から分離する計画が具体化されました。この秋までに設計を進め、工事に着手する予定です。完成すれば、スムーズな車両運行が期待されると同時に、原宿―藤沢駅間のバス運行時間の改善につながることが期待されます。



鈴木恒夫18年度の県議会での役割

- 総務企画常任委員会 (委員長)
- 人材活用特別委員会
- 団政務調査会筆頭副会長
- 県総合計画審議会委員、
- かながわトラストみどり財団評議員
- 県社会福祉事業団評議員
- ガン撲滅をめざす議員連盟幹事長
- 黒潮物語議員連盟幹事長

がん撲滅議連の活動から

昨年一二月にがん撲滅をめざす議員連盟が県議会有志により設立されました。がんを未然に防ぐ検診としての「PERT」 「マンモグラフィ」などの検査方法の研究、また食生活・禁煙・運動など生活習慣の見直しの普及啓発活動や「重粒子線装置」など最先端の医療機器への理解を深めるとともに、本県医療機関への積極的な導入を促す活動を行うため、関係機関の協力を得ながら、医療現場・研究機関等への視察や講師を招いての研究会を行っております。本年八月四日に県内民間有志により設立された「がん医療と患者・家族を支援する会」とも密接に連携を取っております。また、九月には千葉市にある放射線医学総合研究所を視察し、重粒子線がん治療装置やそれを支える従来の専門の枠を超えた人材育成について調査してまいります。今後も県立がんセンターの機能強化を中心に県内ガン撲滅に取り組んでまいります。

し、残り五個は巡視船「たかとり」に葉山沖で引き渡し黒潮での放流を託しました。当日は藤沢市内を中心とした小学生一六人とともに乗船しました。世界と結ばれた海を通じて、湘南から子供たちの夢や希望をメッセージに託し、黒潮ののって世界に発信することは、大変意義深いものと感じました。拾ってくれた人々と新たな交流の輪が広がることを期待いたします。

湘南の海に夢乗せて ーメッセージ放流ー



8/19相模湾にてメッセージボトル放流

「たかとり」に託して



ジを二、三個の特性ボトルに詰め、七個を「うみかぜ」から相模湾に放流

八月一日(土)午後、湘南港より、海上保安庁巡視艇「うみかぜ」に乗船し、約三〇〇通のメッセージ

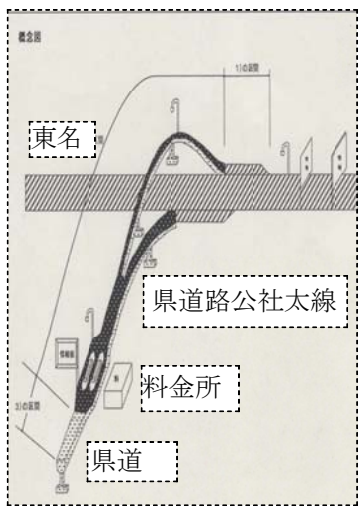
東名綾瀬インター採算性のめどたつ

神奈川県では平成一七年度よりインター実現に向け調査検討を進めております。五月に中間報告が出され、有用性・採算性・形状など結果が出されました。有用性は利便性の向上や地域経済の活性化が期待され、採算は、一日最低一二、〇〇〇台がインターを利用することが見込まれ、東名本線から料金所までのインター部分を県道路公社で建設し、普通車百円のインター利用料を加算することにより、総支出二百三十億円(償却期間三〇年)をクリア出来る見通しがつきました。十八年度はさらに周辺状況の調査を



し、残り五個は巡視船「たかとり」に葉山沖で引き渡し黒潮での放流を託しました。当日は藤沢市内を中心とした小学生一六人とともに乗船しました。世界と結ばれた海を通じて、湘南から子供たちの夢や希望をメッセージに託し、黒潮ののって世界に発信することは、大変意義深いものと感じました。拾ってくれた人々と新たな交流の輪が広がることを期待いたします。

行い、その後、二、三年の関係機関との調整を経てから工事に四年を費やします。早くても平成二十五年頃の開通となると想定されます。七月十八日には、早期実現に向けて経済団体を中心に「綾瀬インターチェンジ設置推進広域連絡協議会」が設立され出席してまいりました。特に、藤沢市には、四車線化された県道藤沢厚木線とリンクしてその利便性の効果と経済の活性化を享受出来るものであり、早期の実現に向け努力してまいります。



2007 湘南国際マラソン
2007年3月18日(日)に開催決定
(フルマラソン・10km) コース
新江の島水族館ー西湘バイパス二宮IC
(折り返し)ー江の島

<地引き網大会>
鈴木恒夫後援会主催
9月17日(日) 9:30より
片瀬海岸西浜「との網」
10点券 1000円